桃太郎 PROJECT 指導案 （全３回）

テーマ

　考え・議論する道徳を通して、物事を広い視野から多面的・多角的に捉え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める。

　 →日常生活において活用できる広い視野と複数の選択肢を意識させることが目的

誰もが知っている桃太郎という昔話。彼は「しあわせ」をつかむために鬼退治へと出かけました。

無事に帰ってきて，しあわせに暮らしましたとさ・・・めでたし，めでたし。

　一見すると，めでたし，めでたしの結論しか考えたことのない、まさに疑いようのない物語なのだが・・・

　昔からある物語ゆえに、出版社や作者も複数存在している。よって、桃太郎が鬼退治に行った理由一つにしても、どんな桃太郎を聴いて育ってきたか（家庭ごと）で異なっている。この教材ではその桃太郎を一つの「型」にはめて、（例えば、大した悪さもしていない鬼を殺した桃太郎を作り上げることで印象操作をする）、視野を広げることを目指した授業ではない。確かに、授業の中に出てくる「僕のお父さんは桃太郎というやつに殺されました」のコピーは生徒たちにとってみれば強烈な印象を与えるが、それは見方の一つなのである。多くの人たちが昔からあるがゆえに疑っていない、また多く人たちが何となく知っている「桃太郎」をフィールドにしただけであり、目指すところは「多面的・多角的な考え方」なのである。

　１、２回目の授業では、博報堂さんに教材を作ってもらったが、この教材を使うことで、登場人物に「感情を移す」ことを目指した。手を動かす道具を持つことで、授業が自分ごとになりやすいと考えている。

第**1**回目　現在の桃太郎から学ぶ

　　　　　昔話「桃太郎」に新しいキャラクター（鬼太郎）を加えることで視野を広げる

→どの視点で対象を捉えるか・・・「しあわせ」とはいったい何だろう。山崎さんと小畑さんの「僕のお父さんは桃太郎という奴に殺されました」のコピーを知り，視点の大切さを深く印象付ける。

＜どのように生徒の人生へ返すか＞

コピーを通して鬼太郎の視点を獲得させ，自分ではしあわせを感じるようなことが起こっていたとしても，それは一側面でしかないことを感じ取り、実生活へ活かしていく。

**授業のコピー：考えていますか？あなた以外の登場人物**

第２回目　過去の桃太郎から学ぶ

　　　　　　昔話「桃太郎」は選択肢Aの繰り返しでエンディングを迎えたことを知る

→鬼を殺すエンディングを迎えてしまったと想定する。その結末まで様々な岐路があったはずである。岐路では選択ABCDがあったはずである。桃太郎は、なぜAを選んだのか。

＜どのように生徒の人生へ返すか＞

選択肢があったことすら気づかない生徒たちも多いはずである。この道徳を通して、自分の人生は多数の選択肢の中から自分が選んでいることを実感させる。また、選択肢を設けていない自分に気づかせる。

**授業のコピー：準備していますか？複数の選択肢**

第３回目　未来の桃太郎から学ぶ

　　　　　　桃太郎のその後のストーリーを考えることで私たちが「よりしあわせ」に生活する

→過去に戻ることも現在を変えることもできない。桃太郎の未来を語ることで「よりしあわせ」をデザインする。

＜どのように生徒の人生へ返すか＞

「続・桃太郎」を考える。それはバッドエンドでもハッピーエンドでも構わない。

私たちは桃太郎から学ぶのである。

**授業のコピー：発信しよう。あなたの言葉で。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 第1回目（桃太郎の現在から学ぶ） | | | |
| ＜学習目標＞  　昔話「桃太郎」に「鬼太郎」を登場させ、エンディングが昔話の「めでたし、めでたし」になるような物語を協働して考える活動を通して、物事（本時では“しあわせ”）を判断するためには、それぞれの登場人物の視点が大切になるということを実体験する。 | | | |
| ＜教材と教室内の設定＞  　キャラクターが記載された桃太郎サイコロ４種類（桃・鬼・その他・子鬼）  　４人班で取り組む。 | | | |
| ○本時の展開 | | | |
|  | 学習内容（生徒の立場） | 主な発問と指導支援の留意点 | 備考 |
| 導入 | １　一般的に幸せと感じられる５種類の画像を見て、学習目標を設定する。  ⅰ．出演者になったつもりで「しあわせ」だと思う人は手をあげる。  ⅱ．最後の画像は桃太郎のエンディング「めでたし、めでたし」の場面を見て、自分で判断する。  昔話「桃太郎」を通して、  「しあわせ」について考えよう。 | ◯５種類の画像を見せるにあたり登場人物になったつもりで判断させるように促す。  －５種類の画像で全員がしあわせだと判断する必要はない。  －挙手した理由を簡単に問う。  ①妹の誕生　②サッカー勝利  ③家族団欒の食事　④恋人繋ぎ　⑤合格発表  ＋桃太郎のエンディング | ５分  導入には、あまり時間をかけたくない。 |
| 展開 | ２　４人班で昔話「桃太郎」のストーリーを共通化し、エンディングは「めでたし、めでたし」の物語であることを再認識する活動をする。  ⅰ．桃太郎サイコロを受け取る。  ⅱ．４人で協力し「めでたし、めでたし」の結末を迎えられる物語をする。下の座席で①桃太郎・②鬼・③その他・④ナレーターの配役で取り組む。  ルール①：サイコロ全ての面を最低でも１回は使うこと（面は複数回の使用は可能とする）  ルール②：４人でサイコロの全ての面を見取り、見通しを持ってからストーリーテリングを始める。  ⅲ．「めでたし」で終わったか自分で判断する。  ../../Desktop/スクリーンショット%202018-02-16%2010.11.39.png  ３　「鬼太郎」を加えた物語を作る活動をする。  ⅰ．「鬼太郎」サイコロの存在を知り、受け取る。  ⅱ．物語の途中は自由に作ることができるが、共通認識した「桃太郎」と同じ「めでたし、めでたし」の結末を迎える終わり方になる物語を協力して作る。  ルール①：サイコロ全ての面を最低でも１回は使うこと（面は複数回の使用は可能とする）  ルール②：４人でサイコロの全ての面を見取り、見通しを持ってからストーリーテリングを始める。  ルール③：１０分間の相談の後、発表者は班で考えた桃太郎を説明する。班員は他の班の桃太郎を聞きに行く。  ４　以下に示す派遣方式で座席の移動行って、意見の交換をする。  ../../Desktop/スクリーンショット%202018-02-16%2010.25.11.png  ⅰ．④の生徒が発表した後は、各班の鬼太郎の設定を紹介しあう。  ⅱ．新しいキャラクターを加えるだけで桃太郎のストーリーが広がることを実感する。  ５　今回と同じように、あるコピーライターが桃太郎に鬼の子供を登場させて、桃太郎という物語を別の視点で捉えようとしたことを知る。  －山崎さん小畑さんの動画を見る。その中で「僕のお父さんは桃太郎というやつに殺されました」のコピーを紹介してもらう。 | ◯ルール①、②の確認は丁寧に行う。（②を実施せず進めると途中でストップしてしまう班ができる。）  ◯生徒に配るサイコロを使って演示する。「昔々あるところにお爺さんとお婆さんがいました。おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは・・・」  ○教師は桃太郎の終わりは「めでたし、めでたし」＝「しあわせ」であったこと確認する。  ○改めてルール②の徹底をすれば、話し合い活動は加速する。  ○この派遣方式を採用すると一回の話し合いで４班分の交流を行うことができて、非常に効率的である。  ○予想される鬼太郎の設定  ①鬼太郎が鬼の幼少期  ②鬼の子供が鬼太郎  ③桃から鬼太郎も一緒に生まれる  ④鬼ヶ島へと旅を共にする  これまで「しあわせ」と信じて疑わなかったものまでも、見る視点を変えると「しあわせ」かどうかわからなくなる。 | 10分  15分  10分 |
| 終末 | ６　５種類の画像を再び見て、「しあわせ」な画像かどうか判断する。  ７  「考えていますか？あなた以外の登場人物」  スライドを見る。  → 今日の授業で大切だと思ったことを書く。 | ＜評価＞別の視点を持つことができるようになったか？ | 5分  5分 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 第２回目（桃太郎の過去から学ぶ） | | | |
| ＜学習目標＞  　昔話「桃太郎」でタイムスリップして過去に戻り、物語がエンディングを迎えるときに、しあわせを増やすための選択肢を考える活動を通し、自分が人生において物事を判断する時、選択肢を準備していないことに気がついたり、先を見据えて選択肢を準備することの価値を実感する。 | | | |
| ＜教材＞５つの場面のカード＋裏面  ①（桃太郎の決断の場面）おじいさん、おばあさんから鬼の話を聞いた時、どんな選択があったのか。  ②（旅立ちの場面）おばあさんからきびだんごを受け取った時、どんな選択があったのか。  ③（犬猿雉に出会った場面）きびだんごを渡す時、どんな選択があったのか。  ④（鬼ヶ島へ向かっている場面）旅の途中、どんな会話があって、どんな選択があったのか。  ⑤（鬼と対峙した場面）彼らが対峙した時、どんな選択があったのか。 | | | |
| ○本時の展開 | | | |
|  | 学習内容（生徒の立場） | 支援上の配慮＆教師のセリフ | 備考 |
| 導入 | １　桃太郎のエンディング「めでたし、めでたし」の場面を見せ、１回目の授業後の生徒たちの意見を共有する。（前授業の復習）  ２　桃太郎の捉え方は様々あるが、前回の授業の続きとしてスタートすることを確認し、学習目標を知る。  ⅰ．（現在の視点）桃太郎が鬼太郎のお父さんを殺害した事実は消すことができない。→悲しんだ鬼太郎を知って後悔する。  ⅱ．タイムマシーンがあったとしたらどうしたいか考える。→殺さないやり方はなかったのか？  ⅲ．物語の中では、どの場面にタイムスリップすれば良いのか考える。  －鬼と戦う場面が出てきた場合、そこでの選択肢を考える。  －それ以前に、もっと良い選択場面はなかったのか考える。 | ○昔話「桃太郎」では桃太郎視点では「めでたし」だった。しかし鬼太郎の存在を感じるとそう見えない。物語の世界で「しあわせ」を少しでも増やしたいと思いませんか？  昔話「桃太郎」でタイムスリップして、過去に戻り、物語がエンディングを迎える時、しあわせを増やすための選択肢を考えよう。  ○生徒がリクエストした過去の場面をスライドで提示する。（５シーンに帰結させていく。）そこでは、他に選択肢があるのかその場で簡単に聞く。 | 5分  10分 |
| 展開 | ３　ジグソー法で桃太郎の選択肢を考え、しあわせを増やす選択肢を話し合う活動をする。  ../../Desktop/スクリーンショット%202018-02-27%2011.32.54.png  ⅰ．桃太郎を５つの場面に区切り、それぞれの場面で選択肢Aを選び積み重ねていった結果、物語がエンディングを迎えたことを知る。  ⅱ．ジグソー法を使って５シーン（５班×６人）の選択肢BCDを考えることを知る。  ⅲ．班ごとに場面カードを完成させる。  ⅳ．クロストークする。（６人×５班）が（６班×５人）に座席を移動し、場面カードのうら面を使いながら物語を進める。  ../../Desktop/スクリーンショット%202018-02-27%2011.33.08.png  ⅴ．しあわせを増やす選択肢はどの場面の、どの選択肢だったのか５人で話し合う。  ⅵ．教室でアイデアを共有する。  ４　桃太郎はこれらの５シーンに出くわした時、本当に複数の選択肢を準備して、その中から最善を考えて選択していったのだろうか。自分の生活に落とし込んで深く考える。 | ◯各場面カードには裏面があり、おもて面は選択肢を描くのみ、うら面にはその選択肢を選んだ結果どんなストーリーになるのか物語の先を書かせる。  ○選択肢の最低一つは物語の中でしあわせが増えるような結末を準備するように伝える。  ○本時では物語の中でしあわせが増えるような桃太郎の選択肢を考えた。しかし、考えてみても、桃太郎が複数の選択肢を準備してAを選択し続けたのかどうかはわからない。事実は鬼太郎がしあわせにならなかったということである。→桃太郎を自分ごとにしてみると、普段自分が選択肢を多く考え行動しているかどうかということになる。 | 30分 |
| 終末 | ５  準備していますか？複数の選択肢  スライドを見る。  → 今日の授業で大切だと思ったことを書く。 |  | 5分 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 第３回目（桃太郎の未来から学ぶ） | | | |
| ＜学習目標＞  　桃太郎のその後のストーリーを考えることで、未来の選択なら今からでも行えることを実感する。 | | | |
| ＜教材＞  　原稿用紙 | | | |
| ○本時の展開 | | | |
|  | 学習内容（生徒の立場） | 支援上の配慮＆教師のセリフ | 備考 |
| 導入 | １　２回の授業は桃太郎の「現在」と「過去」から「自分以外の登場人物」と「複数の選択肢」もつことの大切さを学んできたことを思い出す。  ２　続・桃太郎を考えるということを知る。  ⅰ．桃太郎ではエンディングつまり「過去」や「現在」を変えることはできない。そこで桃太郎の「未来」の話を考えて、現実世界を生きている私たちが「よりしあわせ」に生きていくための続・桃太郎を作ろうということを知る。  ⅱ．続・桃太郎では何を伝えたいのか。自分の考えの立ち位置を明確にする。  ⅲ．生徒作文「負の連鎖」を聞いて作者は何を伝えたかったのか考える。  続・桃太郎を考えて、  私たちが「よりしあわせ」に生活ためのメッセージを発信しよう。 | ◯過去２回の桃太郎を扱った道徳で何を学びましたか？  続・桃太郎を作りながら広い視野と、多くの選択肢を感じていただろうか。  伝えたいことはなんだろうか。  ３回の道徳は人生の糧となっただろうか。  ○例えば「しあわせ」に対するあのコピーのようにバッドエンドからのアプローチでも、ハッピーエンドからのアプローチでもOK。 |  |
| 展開 | ３　作文をかく。  ４　隣の人と交換して、読み合う。  －伝えたいことが無事に伝わっているか。意図しないことが伝わったとしたら、それはそれでいいのか。 | ◯読み合いの時間を確保する場合は2コマ分必要になる。 |  |
| 終末 | ５  発信しよう。あなたの言葉で。  スライドを見る。  → 今日の授業で大切だと思ったことを書く。 |  |  |